

発行所：人民新報社 <http://www.rousyadou.org/>

〒160-0022 東京都新宿区新宿4-1-22

新宿コムロBLD 702 橋本勝史

郵便振替 00150-3-30439 定価 一部200円

送料共 半年1500円／1年3000円

大激動の2025年

総がかり行動と野党共闘を強め 自民党政治をおわらせよう

1月20日にトランプ第二期政権が発足する。トランプは米国一國霸権体制をさらに強化しようとするが、その意図とは真逆の世界的混乱と、バックス・アメリカの弱体化をもたらすことになるだろう。トランプは関税障壁を高くし、また自国産業に補助金を巨額投入することによって、米国経済を活性化させようと主張している。だがそうした政策は、中長期的に見れば、各国の反発と対抗関税をもたらし、米国の過保護産業の競争力の低下、なにより米国のインフレの増進をもたらすことになる。

第二期トランプ政権の人事であげられたいすれの面々もトランプそのひとと同様に過激な言動が目立つ人びとである。

とりわけ外交面では、いちだんと強権的・反民主的手法が激化することになる。ロシアのウクライナ戦争、イスラエルのパレスチナ戦争への対処、そして東アジア、また米欧関係もどう展開するか展望はむづかしい。

カナダの米51番目の州化、デンマーク自治領のグリーンランドやパナマ運河の領有発言などまで飛び出してきた。環境問題の深刻化、米中対立の激化、同盟・有志国への軍備増強の圧力の強化など、世界に大混乱と大きな被害をもたらされるだろう。

トランプ政権の大幅な軍備増強など対日要求は日本にもおおきな衝撃をもたらすことになり、日本社会の階級対立、諸政治勢力の抗争はより激しいものとなる。

自民党の裏金問題、統一協会との癒着、所属議員の不祥事などに対する世論の怒りは太きく、石破新総裁・新首相の下での10月総選挙では歴史的な大敗・与党の過半数割れという事態となった。

り切ろうとしているが、自民党政治に対する批判が強い中では第二与党と言われる両党も自民党へのすりよりは難しい。だが支配層は彼らの難局をのりきるためになにをいしたずから知らない。

石破茂首相は1月1日の年頭所感で、三つの重要政策課題として、その第一の「外交・安全保障上の課題への対応」で、「外交と防衛を車の両輪として、我が国の国益を守り」とし、とくに「防衛力の根幹である自衛官の生活・勤務環境や処遇の改善にも取り組んでいきます」とした。第二として「日本全体の活力を取り戻すこと」をあげ、「深刻な人口減少」を「静かな有事」とし、持論の「地方創生2・0」を起動し、東京の一極集中を是正し、魅力ある地方と都市が結びつき、多様な国民の幸せが実現できる」とし、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を強調した。第三は、「治安・防災への

更なる対応」として「令和8年度中の防災庁設置」と「闇バイトなどの強盗・詐欺被害」対策をあげた。1月6日におこなわれた石破の年頭記者会見では、「強い日本」「豊かな日本」から第三の「楽しい日本」を目指すべきだとし、「令和の日本列島改造」を第一の柱と位置付ける「地方創生2・0」を強力に推進するとし、だが、日本社会が落ち込んでいる厳しい情勢を突破する覇気も展望もないものだった。

通常国会が1月24日に始まる。夏には東京都議選、参院選がおこなわれる。それに衆院解散・総選挙の可能性もある。日本の政治も激動期にはいった。多くの人びとが政治に関心を寄せる条件が熟しつつある。

維新・国民の改憲勢力を孤立させ、改憲と軍拡の石破政権を倒し、市民運動の力で世論をつくり、野党に働きかけ、市民と野党の共闘を再構築しなければならぬ。多くの市民が市民と野党の共闘の推進をねがっている。

反戦平和改憲阻止運動、総がかりの運動をいっそう強め・拡大しよう。参院選では必ず市民と野党の共闘を再構築しよう。市民と立憲野党の共闘を強化して、石破自公政権を打倒し、自民党政治をおわらせよう。

東アジア平和体制のための構想と協議を 金敬敏さんの19日行動メッセージ

委員会／韓国市民社会連帯委員会／韓国YMC A全国連盟事務総長）が参加して発言した。

19日行動メッセージ

こんばんは。

平和と民主主義を愛する

日本の同志、市民の皆さん！

韓国と日本の市民社会とは

長い間、平和と連帯の絆で

深くつながっています。特

に、12月3日の夜、非常

戒厳令が宣言された後、1

2月5日にすぐに記者会見

を行い、非常戒厳令を非難

し、韓国の民主主義と市民

社会に連帯と支持を表明し

てくださったことに深く感

謝いたします。

12月3日の夜、非常戒

厳令が宣言されると、数人

の市民社会指導者が対策討

議のために集まりました。

非常戒厳令を3回経験し

たある高齢の先輩は、こ

の度の戒厳令宣布に対する

抗議行動に出かける時に、

自分がこの度はどうなっ

てしまうか心に不安がよぎ

ながらも妻に「また会おう

」と挨拶をして出て行ったそ

うです。

光州民衆抗争は、軍部が

緊急戒厳令を宣言した19

80年5月17日の翌日、

1980年5月18日に起

こりました。緊急戒厳令

は韓国人にとって拷問と血

の虐殺を意味します。

今回の非常戒厳事態は、

1980年よりも多くの軍

が関与しており、国情院な

どの権力機関が広範囲に関

与した緻密に計画された内

乱であったことが具体的に

明らかになっています。

非常戒厳令布告の発表にも

かわらず、国会前に集ま

り、武装した戒厳軍と装甲

車を素手で阻止した市民の

行動と、国会の迅速な非常

戒厳令撤廃要求決議案の通

過により、非常戒厳令を一

旦阻止することができまし

た。特別戦闘隊や707部

隊など最精鋭の兵士たちの

消極的な対応も、国会の戒

厳令廃止に大きな力になり

ました。

大韓民国の憲法第1条で

は大韓民国は民主共和国で

ある、憲法第2条ではすべ

ての権力は国民に依拠する

と明記しています。憲法1

条と2条は、民主主義のた

めの闘争を通じて市民の心

に深く内面化されています。

市民社会はすでにユン・ソ

クヨルの即時退陣、社会大

改革緊急行動を結成し、1

2月14日、200万人を

超える市民が国会前に集ま

た中、ユン・ソクヨル弾劾

を国会で可決しました。

しかし、今回の非常戒厳

令の過程で注意深く見なけ

ればならない部分がありま

す。

国会は非常戒厳宣布後の

一連の過程を内乱と規定し

ユン・ソクヨルを内乱の首

謀者として弾劾しましたが、

ユン・ソクヨルが北朝鮮を

刺激して戦争を誘発し、戦

争状況を根拠に戒厳統治を

試みようとしたことが至る

ところから明らかになって

来ています。無人機の破壊

上空への侵入、汚物風船の

出発点打撃命令など、少な

くとも3回以上の試みがあ

りました。分断状況を利用

して戦争を誘発し、強権集

中化を夢見た狂人がユン・

ソクヨルです。そして、朝

鮮半島の分断は人間の安全

保障と平和・韓国の民主主

義と繁栄を脅かす最も根本

的な問題といえます。また

韓国は持続的な敵対行為と

年500回を超える米韓連

合訓練などの武力挑発、そ

して無人機の破壊侵入など

を行ってきましたが、その

ような南側からの挑発に対

して軍事的に対応しない北

朝鮮を高く評価します。

韓国は産業発展と民主主

義を実現した国ですが、な

ぜユン・ソクヨルのような

人が大統領になり、また非

常戒厳令が宣言されるのか、

多くの人が疑問を抱いてい

ます。

韓国の現代史は、日本植

民地時代の残滓を清算でき

ず、分断状況を利用した軍

事独裁時代を経験し、民主

化後も親日軍事独裁に回帰

しようとする極右勢力との

命をかけた闘争の歴史であ

り、市民抗争の歴史です。

それゆえ私たちは自信を持

て申し上げます。大韓民国

は市民が興し、市民が守り、

ち市民は大日本帝国の植民

地支配に協力した裏切り者

そして南北分断の傷と今も

苦しみながら闘争していま

す。

今回の弾劾後の日程は大

きく2段階に予測されます。

約2ヶ月間の憲法裁判所

によるユン・ソクヨル大統

領の罷免手続きと罷免後2ヶ

月以内の大統領選挙の過程

で展開されるでしょう。

朝鮮半島の平和と民主主

義は、東アジア地域の秩序

にも深く影響します。

米国は中国を圧迫する日

米韓軍事同盟と、安倍首相

が推進したインド太平洋戦

略を積極的推進してしま

した。

韓米日軍事同盟の締結は、

東アジアを軍事的葛藤と危

機の間として来ましたが、

韓日市民社会は、そのよう

な戦争への道ではなく、東

アジア平和体制のための構

想と協議を進めることを提

案します。

憲法9条を守るための日

本市民社会の闘いは、東ア

献身に深い敬意と連帯の気

持ちを皆さまにお伝えしま

す。

石破首相が主張するアジ

ア版NATOではなく、米

国と中国、日本、韓国、北

朝鮮などが相互の安全を保

証する東アジア多国間平和

体制の確立の可能性などを

協議して行きたいのです。

韓国と日本社会が友人と

して友情を分かち合い、民

主主義と平和の定着に向け

た大行進を共にする同志と

して、そして長い道のりを

共にする友人として、いつ

も一緒にいてほしいと思い

ます。

ありがとうございます。

●2月5日12時から14

時に、参議院議員会館講堂

で「『私たちは韓国民の

尹錫悦政権退陣民主化闘争

に連帯します』連帯声明」

賛同連署者一同の主催によ

る日韓市民と国会議員の院

内集会&記者会見「私たち

は韓国民の尹錫悦政権退

陣民主化闘争に連帯します」

が開かれる。

「AIで電力需要増大」の大ウソ

原発再稼働・増設を許さない闘いを！

めている。資源エネルギー庁の総合資源エネルギー調査会の基本政策分科会では、AI普及によるデータセンターや半導体工場の建設により、電力需要が増加することがたびたび強調され、原発が必要不可欠といった方向にもっていくようとしている。しかし実態はどうなのだろうか。

よって、世界および日本の電力需要および二酸化炭素(CO2)排出が激増する③ゆえに、日本で原発推進が必要である、というものだ。

しかし、①の前提および①②の論理展開が間違いで、そもそもデータセンターは電力需要増大要因としては大きくない。日本全体の電力需要は激増していないのは、政府が引用する電力中央研究所(2024)も激増とは予測していないことと明らかだ。電中研報告では、データセンターによる2050年までの増加分は200TWh弱、2021年比では約20%増(年率0.6%)にすぎない。

は0.9%、そしてデータセンターは0.5%だ。半導体製造が年率5%増加、情報サービス業が年率15%増加すると仮定しても、2035年は2022年需要の7%相当、2040年は2022年需要の11%相当にすぎない。電力全体は、省エネして2022年比で15%減少できるというわれる。

にもかかわらず、懲りない経産省による「フリーディンク」な電力需要見通しをおこなっている。データセンターなどを除いた電力需要量として2024年8月の最大需要(約1億6千万kW)と同量が2030年まで続くという想定をしているが、これはかなり乱暴な数字だ。

原発再稼働・運転延長は、再エネ・省エネよりも劣っている。最新のIEA(国際エネルギー機関)の文献では温室効果ガス排出削減コストでも原発運転延長よりも再エネ新設の方がはるかに安いとしている。

12月27日から、第7次エネルギー基本計画(案)に対するパブリックコメント(意見募集)が始まったが、今回のものはこれまでのエネ基に比べてかなり雑で適当なものになっている。2040年というかなり先の数値を、とりあえず適当に決めた感じだ。本来ならば2030年の見直しや2035年の数値の5度目標ははなから無視し、議論があるべきだし、そもそも数値がほとんどないの

12月21日、地球規模での環境問題に取り組む国際環境NGOのFoe Japan(エフ・オー・イー・ジャパン)主催で、「福島支援と脱原発・連続オンライントークが開かれた。

東北大学の東北アジア研究センター・環境科学研究科教授の明日香壽川さんが、「AI普及で電力需要が急増し原発が必要は本当か」と題して報告した。

「原発が必要」という結論の三段論法は間違っている。政府・日経新聞が使う三段論法は、①データセンターやAIなどの情報関連技術(ICT)部門が急激に拡大している②これに

つぎに②③の論理展開の違いを指摘したい。まず再エネ・省エネのポテンシャルは日本全体の電力需要に比較して十分に大きいということだ。発電コストという意味でも温室効果削減コストという意味でも、原発新設は言うまでもなく、

な「詐欺」そのものだ。そして発電コスト検証の「検証」は必ずなされなければならないがそれもない。発電コスト計算とくに原発のそれには、資本費(建設費など)、追加的安全対策費、設備利用率、稼働年

政府、電力会社、原発推進派は、今後AI(人工知能)などの普及を口実に原発推進・再稼働の世論をつくらうと躍起になっている。経済産業省は第7次エネルギー基本計画の策定を進

「原発が必要」という結論の三段論法は間違っている。政府・日経新聞が使う三段論法は、①データセンターやAIなどの情報関連技術(ICT)部門が急激に拡大している②これに

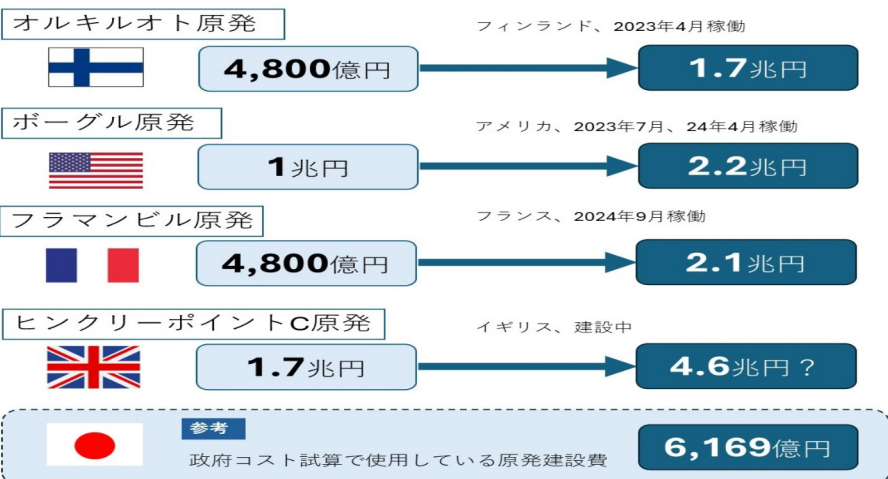
全体に対して7%(2024)、日本では0.46%(1.5%(2022)だ。そして2022年電力需要に占める割合は半導体製造業で2.2%(半導体大手

の間違いを指摘したい。まず再エネ・省エネのポテンシャルは日本全体の電力需要に比較して十分に大きいということだ。発電コストという意味でも温室効果削減コストという意味でも、

な「詐欺」そのものだ。そして発電コスト検証の「検証」は必ずなされなければならないがそれもない。発電コスト計算とくに原発のそれには、資本費(建設費など)、追加的安全対策費、設備利用率、稼働年

原発建設費用は数兆円に 当初予算から数倍にも

(1基あたりの建設費)



出典: FOE Japan ブログ: 最近稼働した原発の建設コストは?...

数、燃料費、事故リスク対応コストという意味でも、原発新設は言うまでもなく、応費用、バックエンド費用、割引率、政策経費など統合コストが計算されなければならぬ。原発の建設費用は今や数兆円。しかも、当初の予算額の数倍に達する。結論として言えるのは、世界的に見ても、原発建設費用は莫大なものだ。しかし、日本政府の「発電コスト検証ワーキンググループ」では各電源の発電コストを検証していますが、原発の発電コストの前提としては、原発建設費用十追加安全コストとして、6、169億円としている。これは最近の世界の原発の建設費からみると、かなりの過小評価となっている。最近稼働した原発の建設コストは、今や数兆円は当たり前で、当初予算の数倍に膨張も原発関連の工期延長やコストオーバーランは常識である。くわえて、追加安全対策投資額は、設置変更許可を受けた時点で追加投資額は大きく増えるようになっている。このように、発電コストという意味でも温室効果削減



島根原発再稼働反対 絶対に諦めない

出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市、倉吉市、鳥取市の街角では、数人から100人規模の市民が怒りの声を上げた。この行動は広島市の中国電力本社前でも連携して大々的におこなわれた。

12月25日の発送電開始予定日を前に、12・21島根原発2号機再稼働反対集会は松江市の「くにびきメッセ国際会議場」で、中国5県、四国、関西から300人以上の参加者が駆けつけて開催された。

12月25日の発送電開始予定日を前に、12・21島根原発2号機再稼働反対集会は松江市の「くにびきメッセ国際会議場」で、中国5県、四国、関西から300人以上の参加者が駆けつけて開催された。

上関原発建設計画も撤回されていない中で新たな建設は許せない」と両社へ中止を求める署名を提出した。5ヶ月で中国電力宛27万筆、関西電力宛26万筆を提出した。又、8月以降は山口県議会に請願を出し続けている。反対の動きを見させている周辺自治体と共に粘り強く闘っていきたい。」

12月25日の発送電開始予定日を前に、12・21島根原発2号機再稼働反対集会は松江市の「くにびきメッセ国際会議場」で、中国5県、四国、関西から300人以上の参加者が駆けつけて開催された。

生憎の雨中で予定していた屋外でのスタンディング行動が出来ず、室内に変更された。集会は集会アピールを採択して無事に終了した。発言者6名の内容要旨は次のとおり。

広島県原発被害者団体協議会事務局長の熊田哲治さん「先日、日本被団協がノーベル平和賞を受賞したが、これは世界中の被ばく者の活動に贈られたものであり、多くの平和団体の力添えがあったこと。反面、足下の日本政府は核兵器禁止条約に背を向けたまま。我々は受賞の意味を、おめでとうではなく、もうひと踏ん張りしてくれ!と重い宿題

上関原発を建てさせない山口県民連絡会の太田保雅さん「昨年から使用済み核燃料中間貯蔵施設設計計画が持ち上がり、新たに反対運動もやりだした。3・11以降、反対、容認の立場を超えた原発に頼らないまちづくりが軌道に乗り始めた矢先の出来事で再び住民の間に分断が生まれないか懸念が広がっている。」

2024年12月7日に島根原発2号機(中国電力・松江市鹿島町)が再稼働した。事故を起こした東京電力福島第一原発と同型(沸騰水型炉)で、11月の女川原発に続いての基目となった。

この日は早朝から夕方までの間に連続した一斉行動が取り組まれた。松江市、

「福島原発事故から13年が経ったが教訓は活かされなかった。これまで可能な限りの行動を積み上げてき

た。この日は早朝から夕方までの間に連続した一斉行動が取り組まれた。松江市、

「福島原発事故から13年が経ったが教訓は活かされなかった。これまで可能な限りの行動を積み上げてき

た。この日は早朝から夕方までの間に連続した一斉行動が取り組まれた。松江市、

島根半島に原発があり、10キロ圏内に県庁、市庁舎、



島根原発2号機再稼働反対集会 (12・21)

市街地と30キロ圏内に避難場と化している。ラトビア難対象者46万人を抱える島根は、より大きな災害になるのではないかと危惧している。

災害復興もままならない11月24日に原発事故時にも安全だ！キャンペーンに過ぎない原子力防災訓練がおこなわれた。言うまでもなく実効性は無い。それどころか今や原子力産業界の新たなビジネスチャンスの

「再稼働前の11月、2月と立て続けに発覚、発生した

企業体質を露呈した。志賀原発と同じ方法の海底活断層調査評価は信用できない。松江市に1250ヶ所ある橋の老朽化、7月豪雨で発生した孤立集落問題、土砂災害危険地域にある病院や施設、要介護者数1位の問題など避難対策が山積み状態で再稼働はありえない。」

「再稼働前の11月、2月と立て続けに発覚、発生した孤立集落問題、土砂災害危険地域にある病院や施設、要介護者数1位の問題など避難対策が山積み状態で再稼働はありえない。」

「2011年に福島県田村郡三春町から島根県の雲南市に2歳半の娘と避難移住してきた。島根原発が再稼働してあの時の光景、心問題が蘇る。丁度、昨日まで故郷浜通りを視察する機会を得た。懐かしい風景の中に帰還困難区域を視る。13年間「原子力緊急事態宣言」が出たままを実感する。線量計を見ながら、原子力災害は自然災害と違うのだと。復興工事だけでは元に戻せない心の傷やもどかしさを解って欲しい。一番の安心、安全は動かさないこと。今からでも遅くないか

「2011年に福島県田村郡三春町から島根県の雲南市に2歳半の娘と避難移住してきた。島根原発が再稼働してあの時の光景、心問題が蘇る。丁度、昨日まで故郷浜通りを視察する機会を得た。懐かしい風景の中に帰還困難区域を視る。13年間「原子力緊急事態宣言」が出たままを実感する。線量計を見ながら、原子力災害は自然災害と違うのだと。復興工事だけでは元に戻せない心の傷やもどかしさを解って欲しい。一番の安心、安全は動かさないこと。今からでも遅くないか

「2011年に福島県田村郡三春町から島根県の雲南市に2歳半の娘と避難移住してきた。島根原発が再稼働してあの時の光景、心問題が蘇る。丁度、昨日まで故郷浜通りを視察する機会を得た。懐かしい風景の中に帰還困難区域を視る。13年間「原子力緊急事態宣言」が出たままを実感する。線量計を見ながら、原子力災害は自然災害と違うのだと。復興工事だけでは元に戻せない心の傷やもどかしさを解って欲しい。一番の安心、安全は動かさないこと。今からでも遅くないか

「2011年に福島県田村郡三春町から島根県の雲南市に2歳半の娘と避難移住してきた。島根原発が再稼働してあの時の光景、心問題が蘇る。丁度、昨日まで故郷浜通りを視察する機会を得た。懐かしい風景の中に帰還困難区域を視る。13年間「原子力緊急事態宣言」が出たままを実感する。線量計を見ながら、原子力災害は自然災害と違うのだと。復興工事だけでは元に戻せない心の傷やもどかしさを解って欲しい。一番の安心、安全は動かさないこと。今からでも遅くないか

労働組合には

要求を実現する力があろう！

関生支部への弾圧を跳ね返せ！

政府が賃上げを主導するなど笑わせる。戦後労働組合を攻撃破壊して来たのは大企業優先の自民党政治ではないか。

三池・国鉄・そして今連帯労組関西生コン支部にここ数年不当な刑事弾圧と不公平な裁判判決が続いている。だが関西そして全国の共



12・19日大阪高裁前

今年元旦行動が大阪府警前で450名が早朝より結

「無罪と罰金刑の大阪地裁判決」を逃げて差し戻して来た最高裁を糾弾し完全無罪を勝ち取るとした。裁判は弁護士の反論を展開し4月17日判決となる。



元旦行動（大阪府警前）

集し、湯川委員長の力強い決意と各地の共闘会議のアピールとシュプレヒコールや「インターナショナル」の大合唱があった。2月26日には京都事件の判決がある、委員長には10年の異常な求刑がされている。

何としても、完全無罪を勝ち取るために、ガンバロウ！

夢洲万博より能登復興を！大阪検事正の性暴力犯罪糾弾！

権力の横暴を決して許さないぞ。（河田）

袴田巖さん無罪から再審法改正へ

袴田事件は昨年9月26日、等と②再審請求審における証開示等について理論したが、警察・検察の証開示だけでは、再審法改正の現況の展望は難しい状況が明らかになった画期的な判決であった。また38年前の福井女子中学生殺害事件の再審開始も決まった。しかし、検察などの体質は改善されていない。自由中心、調書裁判の警察・検察のつち上げ事件は後をたない。警察・検察に対する監視を強めるとともに、早期の再審法改正を実現しなければならない。

再審とは、誤判により有罪の確定判決を受けたえん罪被害者を救済することを目的とする制度で、えん罪被害者を救済する最終手段だ。しかし現在の再審制度は制度的・構造的問題を抱えている。現在、法務省の「改正刑法に関する刑事手続の在り方協議会」で、①取調べの録音・録画制度

題」と題して報告した。日弁連はとにかく今すぐにこれだけは改正して欲しいという4項目を立てている。

①証開示の制度化、②検察官抗告の禁止、③手続き規定の明文化、④証開の保管・保存だ。最低限の手続き規定を作ろうということだ。最近では鹿児島警の「証開ほとんど捨てまじょう」とかいうところでもない内部文書が出てきて問題になっている。再審法改正は待たなした。

12月19日、国会内に誤判原因の究明と再審法改正に関する特別委員会を設置することなどを求めて活動している「再審法めざす市民の会」は、国会内集会

「袴田無罪から再審法改正へ 国会で冤罪原因を究明し 改革を」を開催した。市民の会共同代表の監督・周防正行と袴田巖さんの姉・ひで子さんがあいさつ。日本弁護士連合会再審法改正実現本部長代行の鴨志田祐美弁護士が、「再審法改正の到達点と実現への課

などの超党派の国會議員があいさつした（議員連盟には、衆参国會議員総数713名中361名が参加している）。

日弁連は再審法改正の運動を強めている。「袴田事件」の再審無罪判決を受けて、検察官に対して速やかな上訴権放棄を求めるとともに、政府及び国会に対して改めて死刑制度の廃止と再審法の速やかな改正を求める会長声明（2024年9月26日）では、「当連

合会は、「袴田事件」の再審無罪判決を受けて、政府及び国会に対し、改めて、死刑制度の廃止並びに再審請求手続における証開示の制度化、再審開始決定に対する検察官の不服申立ての禁止及び再審請求審における手続規定の整備を含む再審法の速やかな改正を強く求める。『袴田事件』は、死刑えん罪の残酷さを如実に物語るものであり、この

ような悲劇を今後二度と繰り返してはならない。そして当連合会は、袴田氏が真

の自由を得て、一人の市民として人間らしく穏やかな日々を過ごされることを切に願っている」とした。

●日弁連が支援している再審事件（無罪が確定していない事件）

名張事件、マルヨ無線事件、大崎事件、日野町事件、福井女子中学生殺人事件、鶴見事件、恵庭殺人事件、姫路郵便局強盗事件、豊川事件、小石川事件、難波ヒデオ店放火殺人事件、●日弁連が支援し、2010年以降に無罪が確定した事件

足利事件（宇都宮地裁平成22年3月26日再審無罪判決）、布川事件（水戸地裁土浦支部平成23年5月24日再審無罪判決）、東京電力女性社員殺害事件（東京高裁平成24年11月7日再審無罪判決）、東住吉事件（大阪地裁平成28年8月10日再審無罪判決）、松橋事件（熊本地裁平成31年3月28日再審無罪判決）、湖東事件（大津地裁令和2年3月31日再審無罪判決）

今月のテーマ

「折々のうた」から

大岡信が1979〜2007年に朝日新聞に連載していたコラム「折々のうた」は「新折々のうた」を含め19冊の岩波新書になっている。

年々年始はこれを読み返すようになって久しい。

今回は最初の4冊から好きな詩歌を紹介する。

言葉や背景の説明が長くなるのを避けるとおのずから近世以降の作品に絞られる。

人に勝らん心のみいそがはしきく熱を病む風景ばかり悲しきはなし

（中原中也）

90年ほど前の作品だが、この風潮は近年益々猖獗を

極めてるように思われてならない。

老いたるは皆かしこかりこの国に身を殺す者すべて若人

（与謝野寛）

M43年潜航訓練中に遭難した軍人を怒りとともに悼む歌。これも今も変わらぬ風景。

うつくしきあごととあへり能登時雨

（鈴山実）

能登半島地震から1年、復興は遅々として進まない。「あごと」は「あご」のこと。

水鳥やむかふの岸へつうい

（広瀬惟然）

芭蕉晩年の門人の作。通院の際によく川端に遊ぶがまさにこのとおりの光景。

憂きことを海月に語る海鼠かな

（黒柳 召波）

江戸中期の俳人の作。思わずクスッとしてしまうの

は、海鼠の深刻そうな顔が目に浮かぶからだろうか。

余り言葉のかけたさにあれ見さいなう 空行く雲の早さよ

いくたびも雪の深さを尋ねけり

(正岡 子規)

肺結核による脊椎カリエスに苦しみながら「病牀六尺」のなかから家人に雪の降り具合を尋ねる。外の光景に思いを馳せるのだ。

鶏の嘴に氷こぼるる菜屑かな

(加舎 白雄)

作者は江戸中期の俳人。子供の頃家で飼っていた鶏のしぐさと凍てつく寒さを思い出す。

妻の手紙は悲劇めかずに来てあたたかし

(橋本 夢道)

しらしらと氷かがやき千鳥なく、釧路の海の冬の月かな

(石川啄木)

仕事を求めて各地を転々とした啄木が釧路に着いた時を想い起して作った歌。「さいはての 駅に下り立ち雪あかりさびしき町に

(星 亨)

作者29歳の作。澆測とした健康な若さのもつ勢い。

中野重治の初期の短編「愚かな女」に似た雰囲気の一節がある。「それでゴムの長靴をはいてびしゃびしゃ歩いて行くと、その泥みちがどこまでも続いているような気がしてきて、おれのほうじゃ、それならどこまででもびしゃびしゃ歩いて行くぞという気になって、りんりんとして勇気の生じるのを感じたがね」

(土岐 善麿)

敗戦時の妻との会話。大岡は「当時の多くの終戦詠の中でも白眉のものではないか」と評する。

(橋本 多佳子)

30代後半に夫に先立たれた胸を突かれる追慕の一句。死を予感した最後の入院を前にした「雪の日の浴身一指一趾愛し」という絶唱がある。

うらやまし思ひ切るとき猫の恋

(越智越人)

いつとき大騒ぎの恋猫も過ぎれば知らん顔。人間はそうはいかないから困る。

(吉屋 信子)

金魚売と作者と二人の優しさが伝わってくる。

小学も五年となれば出で稼ぎ居所不明とて学校に来ず

(後井 嘉一)

東京下町の小学校で音楽教師を長くやった人。貧しい庶民の生活を歌う。忘れられない一首がある。「欠食児の父戦死すと報到れり一年生にて事わきまえず」。

(永田 耕衣)

ユートラスでもあり水底の不思議な世界にひきこまれるような。戦後の作品。

あぶないものばかり持たたがる子の手から次々にものをとり上げて ふっと寂し

(五島 美代子)

子育て中同じ思いをした人は多からう。歌われている幼児は東大在学中に精神的苦悩のために急逝し、その悲しみから立ち直る過程で生まれた歌という。

ひのものと大倭の民も、孤独にて老い漂零へむ時

(釈 迢空)

8月15日の後山に籠ったと詞書にある。養嗣子を南方戦線で失っている。多くの若者を戦火に失った国の前途への暗い予感。しかし、「孤独にて老い漂零へむ時」はある意味予言的である。

ふらここの会釈こぼるるや 高みより

(炭 太祇)

蕪村と同時代の俳人。「ふらここ」はフランクのこと。

犬は犬、我は我にて果つべきを命触りつつ睦ぶかなしさ

(金岩 米吉)

作者はイヌ科動物の生態学研究で有名という。犬との結びつきの「哀し」さ「愛し」さは伊藤比呂美「野犬の仔犬チト」にも強く感じた。

おそるべき君らの乳房夏来る

(西東 三鬼)

1946年夏の作。この解放感「青い山脈」に通じる。

突きあたり何かささやき囁きわかれ

(俳風 柳多留)

江戸時代の川柳。いかにむいかにも

走り去ななと思へと見らに 障りぬ

(山上 憶良)

進退窮まってもさらにひっかかって逃げ出すことができない。まさに「飛び立ちかねつ鳥にしあらねば」。

寝かさなき母になられし 蒲団かな

(岡本 松浜)

戦前の作。老いて小さくなった母親への感慨。斎藤 史に「我を生みしはこの鳥骸のごときものかされば生まれしことに慙す」という歌がある。

(新)





ごい座り込み、わたしたちの誰が経験したろうか。

「詩に道を尋ねる#31」
「民衆の炎、歴史の心臓」

この寒い 雪まで舞う冷たいアスファルトの上に、降る雪の中も揺るがない身体。

そこに座っている人たちは 風より強い民衆の息吹で。路上に座り込む人々の写真もみた。冷たい手を握りしめながら、その顔は勝利への確信にあふれているようにみえる。こんなものす敵しい。



雪の中の座り込み

その手は歴史の歯車を回している。

たくさん学べなくとも、彼らの手に宿った正義と常識は、夜明

けを開くまいとつた。

一人ひとりが作り出したこの力、3・1運動の歓声から、5・18の抵抗から、今日のアスファルトへつながる。

彼らの力が尹錫悦を引き

韓国民衆の闘いに思いを馳せる

きて言う。

一人一人の犠牲がまさに歴史の心臓であり、頭を下げ、われらは学ぶ。

正義と常識は決して負けない。

この原稿を書いている1月8日現在、違法・無罪な戒厳令を宣布して、内乱罪等に問われ、韓国大統領職務を停止された尹錫悦(ユン・ソンニョル)は、裁判所が発布した逮捕状を無視して、大統領公邸に立てこもっている。高位公職者犯罪捜査庁がどのように逮捕状を執行するのか、現場は一触即発の危機にある。それにしても韓国民衆のこの不屈の闘いはどうだ。詩が歌っているように、いま雪の中にライトをかざして座り込んでいる若者たちは、「(1919年の)3・1独立運動」「1980年の光州の5・18闘争」の抵抗闘争の伝統を引き継いでいる。

この闘いこそが米日韓軍事同盟の一角を崩して、東アジアのきな臭い戦火の臭

いを消し止めるたたかいで 2月5日、韓国から野党の国会議員と連帯する。
あり、私たち日本の民衆との国会議員と市民の代表がの共通のたたかいだ。 来日し、日本の市民と野党

せんりゅう

予算案から犬金企業臭

だれのため自公犬金予算案

国をうごかす犬金いただき党

かみくだきかみくだき逃げの答弁

唐突に原発大好きにもなり

思想も理念も失せて首相の座

黴菌のごとく金がまう政界

戦う国にさせじ我は闘う

戦う国にしてならじデモに立つ

国会前もうひとつの国会あり

2025年1月

史